

平成 25 年 9 月 12 日

各 位

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン  
代表者名 代表取締役社長 寺井 和彦  
(JASDAQ 市場 銘柄コード:4764)

問い合わせ先 業務推進グループ 佐藤 真由美

TEL:06-6363-2322(代)

## 平成 26 年 1 月期第 2 四半期連結業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

平成 26 年 1 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 25 年 2 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日)の当社連結業績につきまして、前年同期(平成 24 年 2 月 1 日～平成 24 年 7 月 31 日)の実績値に対して、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 26 年 1 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 25 年 2 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日)の連結業績と前年同期実績値との差異 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
平成 25 年 1 月期第 2 四半期(前年同期) (A)	159	18	22	△81	△30.36
平成 26 年 1 月期第 2 四半期 (B)	69	△23	△23	△25	△9.47
増減額(B-A)	△89	△42	△45	56	—
増減率	△56.2%	—	—	—	—

注: 当社は平成 25 年 8 月 1 日付で株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益を算定しております。

#### 2. 差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権発足後の金融緩和策や緊急経済対策等の景気刺激策が円安や消費拡大を呼び込んだ結果、景況感の回復傾向など一部で景気回復の兆しがみられました。しかしながら、实体经济への影響は限定的なものにとどまっており、海外景気の下振れ懸念等もあることから、景気の先行きには注視が必要な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは引き続き、国際標準であるモデリング技術を活用したシステム開発サービス、自社ネットワーク製品を活用したシステム開発サービス及びデジタル画像、映像に関連する処理技術のソリューションの販売を推進してまいりました。

しかしながら、前年同期に計上したシステム開発案件の売上高に代わるシステム開発案件の売上計上に至らなかったため、当第 2 四半期連結累計期間におきましては、売上高 69,797 千円(前年同期比 56.2%減)、営業損失 23,834 千円(前年同期は営業利益 18,979 千円)、経常損失 23,690 千円(前年同期は経常利益 22,037 千円)、四半期純損失 25,491 千円(前年同期は四半期純損失 81,686 千円)となりました。

以上